

(様式1)

## 令和6年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立両国中学校
校長名	杉浦 伸一

### I 本校の学力に関する状況

#### (1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 全学年、全教科において、平均正答率が全国平均を上回っている。</li><li>・ 観点別の正答率では、全国平均と同等又は上回っている。特に1年生の国語、2年生の外国語、3年生の数学において、三観点全てで全国平均を10%以上上回っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「基礎」よりも「活用」、「知識・技能」よりも「思考・判断・表現」の正答率が低いことから、知識・技能を活用する力の育成が課題である。</li><li>・ 社会科及び理科において、全国平均と同等の観点があることから、知識・技能の一層の定着を図るとともに、学びに向かう力を高めていく必要がある。</li><li>・ 学年が上がるごとに、D、E層が増加していることから、生徒の実態に応じた個別最適な学びを行う必要がある。</li></ul>

#### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学年が上がるごとに、目標の設定や計画性、見通し等、学習に対する意識や行動力が高まっている。</li><li>・ 分からないことを教師や友人に聞こうとする等、主体的に学習に取り組む意欲が高まっている。</li><li>・ タブレットを効果的に活用した学習を行うことができている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 目標を達成するための粘り強さや、自己調整力を育成する。</li><li>・ 放課後学習や家庭学習等、個に応じた学習習慣を確立することが必要である。</li><li>・ 自らの考えや思いを文章で表現したり、限られた字数で考えを伝えたり、表現する力を育成することが求められる。</li></ul>

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 落ち着いて生活している生徒が多く、授業においても互いに声を掛け合いながら学習環境を整えようとする姿が見られる。</li><li>・ 定期考査や小テストなどへの意欲が高く、努力できる生徒が多い。</li><li>・ ペア、小集団など、多様な学習形態において、対話的な学習に前向きに取り組んでいる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 学習に対する長期的な目標の明確化及び継続した取組を徹底する。</li><li>・ 課題について自ら考え、深め、表現しようとする態度を育成する。</li></ul>

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 基礎・基本の定着 と発展的な課題への取組の推進

- 5教科において、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる学習を毎回の授業に取り入れる。生徒が自分の習得状況を把握し、学習を進められるようにする。さらに、授業内や家庭学習の課題として、発展的な内容の学習にも計画的に取り組ませるようにする。
- 朝の10分間を活用して、朝学習と朝読書を交互に通年を通して定期的に行う。
- 1人1台端末（タブレット）と各種学習アプリ等を活用し、苦手な問題や定期考査対策問題に自主的・継続的に取り組ませる。
- 週2回1時間程度の自主学習教室「両中アカデミー」、各種検定実施とその合格を目指した対策講座（面接練習）を開設し、生徒が意欲的に学習に取り組むことができるよう環境を整える。

(2) 家庭学習、主体的に取り組む学習習慣の確立

- 定期考査3週間前に各教科の試験範囲を提示し、学習計画を立て主体的に学習に取り組むよう指導する。計画や記録については、目標点数や学習時間、取り組む教科名の記入だけでなく、具体的な取組内容や自己評価を詳しく記入させる。担任が学習状況を点検し、必要に応じて助言することで、生徒自身が見直し、見通しをもって学習に取り組んでいけるようにする。
- 各教科の授業において、前時とのつながりを意識した導入や発問の工夫、小テストの実施、多様な教材（プリント、ワーク、タブレット等）を活用した課題の設定を行い、継続して学習に取り組む習慣を付けさせる。

(3) 生徒の主体性を伸ばす学習活動の充実

- 今年度の校内研修のテーマに「主体的に学びに取り組む生徒の育成～学ぶ意欲の向上による学力の向上～」を掲げ、授業公開・授業研究を行う。6～7人の5グループを編成し、グループご

とに各教科における生徒の主体性を育む取組について意見交換をしたり、研究授業を行い、成果と課題について協議をしたり、各自が日々の授業実践・授業改善に取り組む。研究授業以外の協議会では、各教科で使用する教材・教具や題材などについて意見交換を行い、日々の授業実践を振り返り、成果と課題を出し合い、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいく。

- 生徒の学習に対する意識は、意識調査や日頃の様子からも比較的高い状況となっていることが見てとれる。生徒の学びたいという意欲を更に引き出し、主体的に学習に取り組む態度を養うために、生徒の言語活動など学習の基盤をつくる活動を充実させる。

### 3 「令和7年度墨田区学習状況調査」における目標

#### (1) 目標

- ・ 全教科のDE層を20%以下に減少（今年度達成した教科は、今年度の数値以下に）する。
- ・ 全教科のAB層を60%以上にする。
- ・ 標準スコアの経年比較での向上を目指す。